

令和4年度いわて新農業人チャレンジファーム第8回研修を開催しました！」

第8回の研修は、令和4年7月8日(金)、9日(土)に、雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の講義は、「病虫害・雑草総合管理について①」、「にんじんの栽培について」、「大玉トマトの誘引について」でした。

病虫害の総合管理では、研修ほ場で発生した病虫害等をスライドで確認し、発生の様子や耕種的防除、薬剤防除についてを、雑草では、代表的な除草剤を例に、作用のメカニズムや使い方のポイントについてを学びました。

にんじんの栽培では、一斉に発芽させるため、被覆資材を使うとともに、水を切らさないように管理することなどを学びました。

大玉トマトの誘引では、事務局が撮影しておいた動画を視聴しながら、誘引の目的と2種類の方法などを学びました。

実習は、大玉トマトの誘引、にんじんの播種を行いました。

大玉トマトの誘引は、最初に大きくなったわき芽を、ハサミで切り落としてから行いました。このとき、ハサミから、伝染性の病気がまん延しないよう、消毒しながら行いました。

動画で予習したものの、誘引クリップの扱いに苦労した受講生が多かったようです。

にんじんの播種では、いぼ竹を使って植え溝を作り、三条播き(1cm 間隔)にし、乾燥しないように、もみ殻と不織布で被覆しました。受講生は、あまりにも種が小さいことに驚いていました。

実習終了後には、中本研修指導員から、えだまめの中耕除草や、じゃがいもの土寄せについて説明を行いました。その際、じゃがいもの葉の裏に、害虫のテントウムシダマシ(幼虫)がたくさん発生しているのを確認しました。

次回の研修は現地研修で、7月15日(金)に、雫石町内の(有)ファーム菅久様から「水稻と加工の取組」、(有)姫園芸様から「花き園芸の取組」について、お話を伺う予定です。



病虫害をスライドで確認する様子



大玉トマトを誘引する様子



にんじんの種を播く様子



播種後に、不織布で被覆する様子